



26福スポ少第167号
平成26年11月5日

各市町村スポーツ少年団本部長 様

公益財団法人福島県体育協会
福島県スポーツ少年団
本部長 星 本 文



第42回日独スポーツ少年団同時交流
派遣団員の募集について（依頼）

このことについて、別紙開催要項のとおり募集いたしますので、参加資格をご確認の上、ご推薦願います。

また、指導者は山形県からの派遣となります。派遣団員数は、東北ブロック各県で調整後、正式決定になることを申し添えます。

記

- 1 募集内容 別紙募集要項による
- 2 推薦の要件 帰国後、団員は福島県スポーツ少年団リーダー会に入会すること。
(入会している者は、その旨を申込書の現在の活動状況欄へ明記すること)
- 3 提出期限 平成27年1月23日(金)
- 4 提出先 福島県スポーツ少年団宛
- 5 提出書類 ※希望者があった場合は、様式をお送りしますのでご連絡ください。
 - (1) 市町村スポーツ少年団派遣団員推薦一覧
 - (2) 活動調書
 - (3) 申込書
 - (4) 申込課題(作文)・・・パソコン等の使用可
 - (5) 活動単位数確認表・・・該当者のみ(シニア・リーダー以外)
 - (6) 福島県スポーツ少年団リーダー会登録申込書
- 6 その他
 - (1) 参加負担金一人25万円の内、5万円を県本部が補助します。
 - (2) 高校3年生の推薦については、4月以降の進路により、派遣辞退とならないようご指導願います。
 - (3) 所定の活動単位の合計が20単位以上の団員及びこれまでに日本派遣団員として参加実績のある団員についても参加対象となりますので、その趣旨等をご理解の上、推薦願います。

事務担当 公益財団法人福島県体育協会スポーツ少年団係
TEL024-524-3833 FAX024-521-7971

第42回日独スポーツ少年団同時交流

団員・指導者募集要項

公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団は、別紙実施要項（案）にもとづき、各道府県スポーツ少年団との協力により、第42回日独スポーツ少年団同時交流を実施する。

本事業は過去41回の交流の成果を踏まえ、団活動の活発化と団員・指導者の更なる資質の向上、地域間交流の促進を目的として行うものであり、日本代表としてふさわしい団員・指導者を下記により募集する。

記

1. 派遣期間

2015年7月31日（金）～8月17日（月） 16泊18日

<日本団集合（結団式）：7月30日（木）>

2. 派遣先

ドイツ連邦共和国〔受入機関：ドイツスポーツユエグント（dsj）〕

3. 主催

公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団

各道府県体育協会等 各道府県スポーツ少年団

4. 募集人数

団員・指導者 計122名

5. 共通テーマ

共通テーマ：私たちにできるフェアプレイ～スポーツでも、日常生活でも～

6. 経費

派遣参加負担金 1人25万円

※ドイツ滞在中の基本滞在費（宿泊費、食事代、施設入場料等）は上記負担金に含まれる。

※次のものは参加負担金に含まれず、個人負担となる。

- （1）渡航手続き（パスポート取得等）に要する経費
- （2）居住地から事前研修会々場までの往復交通費
- （3）居住地から結団式会場までと成田空港から居住地までの交通費
- （4）現地における各グループ内共通経費および個人的諸費用

7. 応募資格

<団員>

以下の条件を満たし、道府県スポーツ少年団本部長が推薦する平成26年度登録者で、平成27年度も引き続き登録が見込まれる者。

- （1）日本スポーツ少年団シニア・リーダー認定者（含む平成26年度認定見込者）、もしくは所定の活動単位取得者（計20単位以上）で、かつ1993年4月2日～2000年4月1日生まれ（派遣年度に16歳～22歳の誕生日を迎える者）の平成26・27年度登録者。但し、申込者多数の場合は、シニア・リーダー認定者を優先する。また、これまでに日本派遣団として参加実績のある団員についても参加を認める。
- （2）将来、スポーツ少年団指導者として活躍が期待できる者。
- （3）心身強健で協調性のある者。
- （4）英語または独語で会話することが可能な者。

(5) 地域、県内、県外交流経験の豊富な者。

<指導者>

以下の条件を満たし、道府県スポーツ少年団本部長が推薦する平成 26 年度登録指導者（役職員登録者含む）で、平成 27 年度も引き続き登録が見込まれる者。

- (1) 日本スポーツ少年団有資格指導者（認定育成員・認定員）であり、グループワークの経験と能力が豊かで、長期間における団員の引率指導が的確にできる者。
- (2) 国際交流において、日本の代表としてふさわしい人格・見識を有する者。
- (3) 英語または独語で会話することが可能な者。
- (4) 原則として 65 歳以下の者とする。なお、今後もスポーツ少年団指導者として活躍できる若手指導者が望ましい。

8. 提出書類

- (1) 推薦書・申込書（様式別添）
- (2) 作文

・下記課題について指定用紙もしくは原稿用紙に 1,600 字程度でまとめること。
（パソコン等の使用可）

〔団 員〕「日独同時交流で何を学ぶか、それを今後のスポーツ少年団活動に
どのようにいかすか」

〔指導者〕「スポーツ少年団活動と日独同時交流経験の活用について」

9. 推薦期限

各道府県スポーツ少年団は、書類選考・面接試験等を経て派遣候補者を選び、来る 2015 年 3 月 13 日（金）【必着】までに推薦のこと。

10. 選考

日本スポーツ少年団にて、2015 年 3 月中に提出書類による第 1 次選考を行い、さらに第 2 次選考を兼ねた事前研修会を【指導者】同年 5 月 2 日（土）～4 日（月）、【団員】5 月 3 日（日）～4 日（月）に開催し、その後、派遣者を決定する。

11. 選考結果通知

第 1 次選考結果は 2015 年 4 月上旬に、第 2 次選考結果については同年 5 月中旬に、それぞれ各道府県スポーツ少年団および本人宛に通知する。

12. 事前研修会

第 1 次選考による派遣内定者は、下記により開催する事前研修会に必ず参加のこと。なお、研修会の詳細日程および内容等については、第 1 次選考結果と併せて通知する。

〔期間〕

指導者：2015 年 5 月 2 日（土）～4 日（月） 2 泊 3 日

団 員：2015 年 5 月 3 日（日）～4 日（月） 1 泊 2 日

〔場所〕

東京都／国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 渋谷区代々木神園町 3 番 1 号

第 42 回日独スポーツ少年団同時交流

基本日程

<日本団派遣>

○事前研修会

期日：2015 年 5 月 2 日（土）～4 日（月）：指導者 *5 月 2 日（土）13:00 までに集合

3 日（日）～4 日（月）：団 員 *5 月 3 日（日）9:30 までに集合

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

○結団式

期日：2015 年 7 月 30 日（木） *14:00 までに集合

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

○出国（成田空港発）

期日：2015 年 7 月 31 日（金）

○帰国（成田空港着）

期日：2015 年 8 月 17 日（月）

東日本大震災復興支援「とどけよう スポーツの力を東北へ！」
第42回日独スポーツ少年団同時交流実施要項（案）

本事業は、日独両国のスポーツ少年団の優れた青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的に、2011年に調印した「日独スポーツ少年団国際交流協定書」にもとづき、次のとおり実施するものである。

1. 主催

公益財団法人 日本体育協会 日本スポーツ少年団
各道府県体育（スポーツ）協会 各道府県スポーツ少年団

2. 後援

文部科学省（予定）

3. 期日・期間

〔派遣〕 2015年7月31日（金）～8月17日（月） 16泊18日
＜日本団集合（結団式）：7月30日（木）＞
〔受入〕 2015年7月27日（月）～8月12日（水） 16泊17日

4. 派遣・受入人数および構成

両国ともそれぞれ125名を派遣・受入する。日本団の構成はブロック単位のグループ編成とし、ドイツ各州・各団体とのパートナー方式で交流する。

〔団員・指導者〕 122名（指導者は1グループ原則1名）

〔団長団〕 3名（団長、総務、庶務）

計125名

5. 日本団

（1）派遣資格

〔団員〕

日本スポーツ少年団シニア・リーダー認定者（含む平成26年度認定見込者）、もしくは所定の活動単位取得者で、かつ1993年4月2日～2000年4月1日生まれ（派遣年度に16歳～22歳の誕生日を迎える者）の平成26・27年度登録者。但し、申込者多数の場合は、シニア・リーダー認定者を優先する。また、これまでに日本派遣団として参加実績のある団員についても参加を認める。

〔指導者〕

日本スポーツ少年団有資格指導者（認定育成員・認定員）で、原則として65歳以下の平成27年度登録指導者（役職員登録者含む）。

（2）推薦方法

別に定める募集要項により、各道府県スポーツ少年団が推薦する。

（3）日本団の決定

第1次選考：書類審査

第2次選考：第1次選考合格者を対象とする事前研修会

〔期間〕 指導者：5月2日（土）～4日（月） 団員：5月3日（日）～4日（月）

〔会場〕 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）

(4) グループ別事前研修会の実施

派遣決定通知後、全体での事前研修会の結果を踏まえ、共通テーマ・その他準備に関しさらに研修を積むため、各グループの指導者を中心にグループ別の事前研修会を実施する。

6. ドイツ団受入担当区分等

(1) 来日直後および帰国直前における全体プログラム期間中は、日本スポーツ少年団が担当する。

＜全体プログラム（前半）＞

期間：7月27日（月）～29日（水）（2泊3日）

場所：千葉県あるいは東京都（調整中）

＜全体プログラム（後半）＞

期間：8月10日（月）～12日（水）（2泊3日）

場所：東京都

(2) 全国各地における滞在（地方プログラム）期間中は、関係道府県スポーツ少年団およびそのグループ内において担当する。

(3) 地方プログラムの実施にあたっては、各受入グループ幹事県を中心とした委員会を設け、その計画と実行にあたる。

7. 経費について

〔派遣〕

負担金 1人25万円

〔受入〕

(1) 全体プログラム期間中の受入経費については、日本スポーツ少年団が負担する（各グループ離散集合費を含む）。

(2) 地方プログラム期間中の受入経費については、関係道府県スポーツ少年団等が負担する。なお、日本スポーツ少年団が手配する受入通訳の謝金については、各グループ幹事県より提出される通訳業務報告に基づき、日本スポーツ少年団が負担する。

8. 共通テーマ

交流における研修成果をより高めるため、両組織間で設定した共通テーマに基づき、両国団員の身近な問題をディスカッションなど様々な形態と方法により研究する。共通テーマは下記の通りとする。

共通テーマ：私たちにできるフェアプレイ～スポーツでも、日常生活でも～

～スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン～

暴力0（ゼロ） 心でつなぐスポーツの絆